

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月13日

計画の名称	身延町下水道総合整備事業												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	身延町												
計画の目標	身延町下水道施設の現状を掌握しリスク分析を行い身延町ストックマネジメント計画を策定する。 また、身延町ストックマネジメント計画に基づき、処理場等の長寿命化対策を行うことにより、効率的かつ持続可能な下水道を構築する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	185	A	185	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31	R3	R5
1	身延町下水道ストックマネジメント全体計画策定 町内各処理区の処理場施設の躯体、機械・計装設備の現地調査、マンホールポンプ躯体、汚水ポンプ・電気・計装設備の耐久性、現地調査により現状を掌握しリスク分析を行い長期的な改装計画の方向性を決定する。 計画の策定	0%	100%	100%
2	身延町下水道ストックマネジメント実施計画策定 身延町下水道ストックマネジメント全体計画の結果を基に各処理区の施設設備個々の効果的かつ経済的な更新改装計画を作成し各々個々の施設・設備の実施計画、工事に繋げる。 計画の策定	0%	100%	100%
3	ストックマネジメント計画に基づく管路施設の調査実施率を0%(R2年度当初)から100%(R5年度末)に増加させる 管路施設の点検・調査実施率 施設改修工事	0%	10%	100%
4	ストックマネジメント計画に基づく処理場の調査実施率を0%(R2年度当初)から100%(R5年度末)に増加させる 管路施設の点検・調査実施率 施設改修工事	0%	10%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	身延町	直接	山梨県身延町	-	-	身延町下水道ストックマネジメント計画策定事業	計画策定業務一式	山梨県身延町						95		未策定
	A07-002	下水道	一般	身延町	直接	山梨県身延町	管渠(汚水)	改築	身延町下水道管路施設調査更新(身延町公共下水道)	管路施設の調査、設計、長寿命化・更新	山梨県身延町						45		策定中
	A07-003	下水道	一般	身延町	直接	山梨県身延町	終末処理場	改築	身延町下水道水処理施設調査更新事業(中富処理区)	処理場の調査、設計、長寿命化・更新	山梨県身延町						45		策定中
											小計						185		
											合計						185		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

身延町下水道事業審議会において実施。

事後評価の実施時期

令和5年8月21日

公表の方法

町ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

身延町下水道ストックマネジメント全体計画の結果を基に、各処理区の施設・設備の実施計画、実施設計、工事に繋げることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

身延町下水道ストックマネジメント計画に基づき、定期的な点検調査を実施して、施設の長寿命化を図っていく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	指標1について、計画期間内に作成することができた。
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	100%	指標2について、実施計画した箇所は工事に繋げることができた。
	最終実績値	100%	
3	最終目標値	100%	指標3について、当初計画の成果目標の見直しを行い、緊急性の高い終末処理場内の耐用年数が過ぎた電気設備を最優先で更新工事を行うことにした。このため管路施設の調査及び改修工事を行わなかったため、実績値が0となった。
	最終実績値	0%	
4	最終目標値	100%	指標4について、当初計画の成果目標の見直しを行い、緊急性の高い終末処理場内の耐用年数が過ぎた電気設備を最優先で更新工事を行うことにした。このため処理場の調査及び改修工事を行わなかったため、実績値が0となった。
	最終実績値	0%	